

令和7年度第2回鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会 会議結果概要

開催日時	令和8年(2026年)3月18日(水)16時00分から17時00分まで
開催場所	神奈川県企業庁鎌倉水道営業所 1階中央会議室
出席者	<p>[委員] ○6名出席(欠席者3名)</p> <p>[事務局] ○4名出席(欠席者1名) 以上10名出席</p> <p>「鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会 委員名簿」を参照</p> <p>[傍聴者] なし</p>
配布資料	<p>【配付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会委員名簿</li> <li>・資料2 令和7年度第1回鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会会議結果概要</li> <li>・資料3-1 令和7年度精神保健福祉講演会チラシ</li> <li>・資料3-2 令和7年度市民向け講演会チラシ</li> <li>・資料4 事業者向けの施策について</li> <li>・資料5-1 リーフレット「みんなで知ろう障害者差別解消法」(R6.4~改正対応版)</li> <li>・資料5-2 令和6年3月号商工会議所会報(抜粋)</li> <li>・資料5-3 市HP「障害者差別解消法」</li> </ul>
会議概要	<p>1 開会 本協議会の会議結果概要については、市HPで公開しており、本会議も同様に公開することの了承を得る。</p> <p>2 議題 (1) 鎌倉市の取組について(報告) 資料3-1及び3-2に基づいて次のとおり報告。</p> <p>ア 令和8年1月25日(日)に令和7年度精神保健福祉講演会を開催し、ドキュメンタリー映画「どうすればよかったか?」の上映及び当該映画監督のトークショーを実施した。募集定員を超える方にご参加いただき、参加者のアンケートでは、精神疾患等への偏見をなくすために自分もできることからやっていきたいといった声も見られた。</p> <p>イ 令和8年2月14日(土)に「住宅確保要配慮者へのサポート」をテーマに令和7年度障害理解啓発市民向け講演会を開催し、居住支援法人(住宅セーフティネット法に基づき、都道府県から指定を受けて住宅確保要配慮者の居住の支援を行う法人)の代表者や、国土交通省の方等をお招きし、取組内容や施策をお話していただいた。住まい探しに課題を抱える方だけでなく、不動産業者等</p>

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>の住まいを貸す側の立場の方にもご参加いただいた。</p> <p>(2) 事業者に向けた、障害を理由とした差別解消施策について(報告・協議) 資料4及び資料5-1から3に基づいて、事業者向けの障害者差別解消施策について、今まで実施してきた取組、感じている課題及び施策案を説明。</p> <p>ア 取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット等を市窓口等へ配架及び鎌倉市観光協会会員へ配付している。</li> <li>・令和6年3月の商工会議所会報に、その翌月の4月から事業者による合理的配慮の提供が法的義務に変わることを受けた周知記事を掲載した。</li> <li>・市HP上で、リーフレット等を掲載して障害者差別解消法について周知するページを公開している。</li> </ul> <p>イ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記取組では、能動的に広報物を取得したり、市HPを見てくれたりする人以外には市が届けたい情報が届きづらい。</li> <li>・事業者側の課題や困っていることが何かわからず、効果的な取組を考えづらい。</li> </ul> <p>ウ 施策案</p> <p>事業者に対し、障害者差別解消法の認知度や合理的配慮の提供等に関する課題を聞き取るようなアンケートを実施する。</p> <p>【委員からの主な意見、質問等】</p> <p>(事務局)</p> <p>事務局からはアンケート実施を提案するが、他にもアイデアがあればいただきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>観光協会だけでなく、商工会議所の総会やロータリークラブ等の集まりに声をかけて周知するのもよいのではないかと。</p> <p>(会長)</p> <p>社会福祉協議会でも毎年7月、11月、1月、3月に市内全世帯に広報誌を配布しており、商工会議所会報に掲載したように記事の掲載は対応できるだろう。</p> <p>(委員)</p> <p>あまり関心がない人に情報が届きづらいという課題があると認識している。そういう人には「合理的配慮」や「不当な差別的取扱い」という言葉がわかりづらいと思うので、わかりやすい言葉にした上で周知していく方がよい。</p> <p>また、紙媒体の周知に加え、SNSも活用してはどうか。危険な部分もあると思うが、鎌倉市出身の有名な方に発信してもらい、どんどんSNS上で広がっていくと普及しやすいと思うし、「いいね」等の反応があるので効果の程度もわかりやすいと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>事業者の中でも、みんなにとって入りやすい、気軽に使える場所に特に拡げていきたい。コンビニのような日常生活上身近なところにアプローチしていくのはどうか。</p> <p>(委員)</p> <p>駅の放送で、「近くにお困りの方がいらっしゃいましたら、お手伝いすることはありま</p>
----------------------	--

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>すか、とお声がけください。」というような内容が流れる。声かけをためらう気持ちがあるが、このような放送が流れていることで声かけをする後押しになる。同じようなアナウンスを他の場所でもできたらよいと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>当事者の声はとてもパワーがあり、今までも、講演会等で当事者の声を聞いてよかった、なるほどと発見があったとおっしゃる方が多かったので、事業者側のアンケートだけでなく、当事者側にもどんなことに困るのか等を聞き取るアンケートをするとよいのではないかと考えている。</p> <p>(事務局)</p> <p>別件になるが、ちょうどこれから障害のある市民向けにアンケートを実施するところである。その中で合理的配慮の提供や不当な差別的取扱いに関する事例を聞き取るような項目を設けているので、当事者側の意見としてある程度はそこで収集できるのではないかと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>道端のような施設外で車椅子が動かなくなってしまって困ったが、誰に助けを求めたらよいかわからなかった。そういうときにすぐ助けを求められるように地域全体で取り組んでいけたらと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>怖い人がいたらここに入ってというメッセージである、子ども 110 番の家のシールがあるが、これと同じように障害者差別解消を応援してますシールみたいなものがあると、助けを求めやすいかもしれない。</p> <p>(委員)</p> <p>アンケートの設問として困っていきそうな方を見たときに現在はどうのような対応をしているか、声をかけたときにどのようなことで戸惑ったか、という聞き方がよいと思う。</p> <p>(会長)</p> <p>今日の色々なご意見について、市としてできることや協議会の協力が必要なこと等を事務局でまとめたものを、次回会議で提示していただき、議論を深めていきたい。</p> <p>3 その他</p> <p>次回会議については来年度になってから案内を行う旨を伝達。</p> <p>(会長)</p> <p>令和7年度第2回鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------------------	---